

# 東広島市下水道部下水道建設課

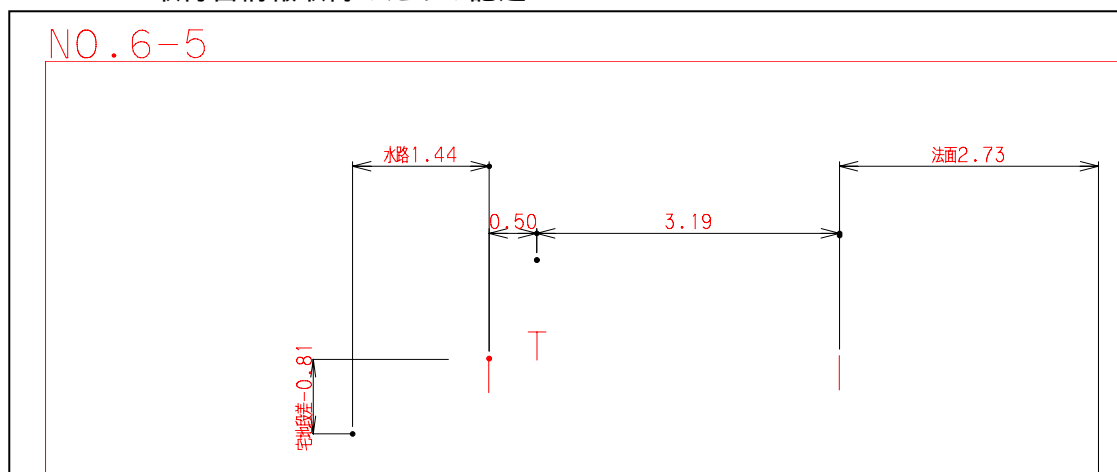
## CAD図面特記仕様書【平縦編】 H20.02

### 0. 全体

- 0-1 図面は基本的に**三面図**で作図します。
- 0-2 図面拡張子はSXF形式のSFCを使用します。

### 1. 横断面図

- 1-1 横断面図上の数値単位  
横断面図の数値はミリメートル(mm)単位で記述します。
- 1-2 カッター有無指定テキスト  
全面復旧がありますので必要な箇所で作図します。
- 1-3 10m以上のスパンでは必ず横断面図を作図します。
- 1-4 取付管情報取得のための記述



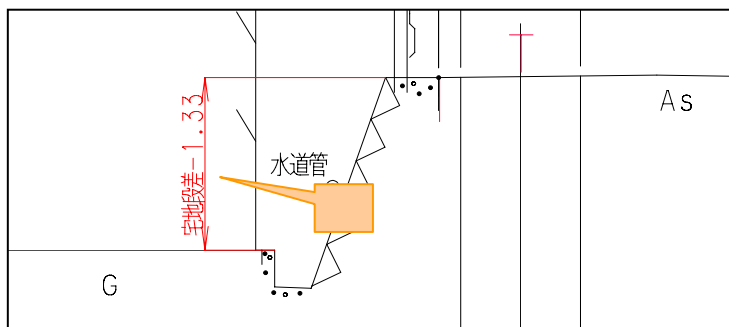
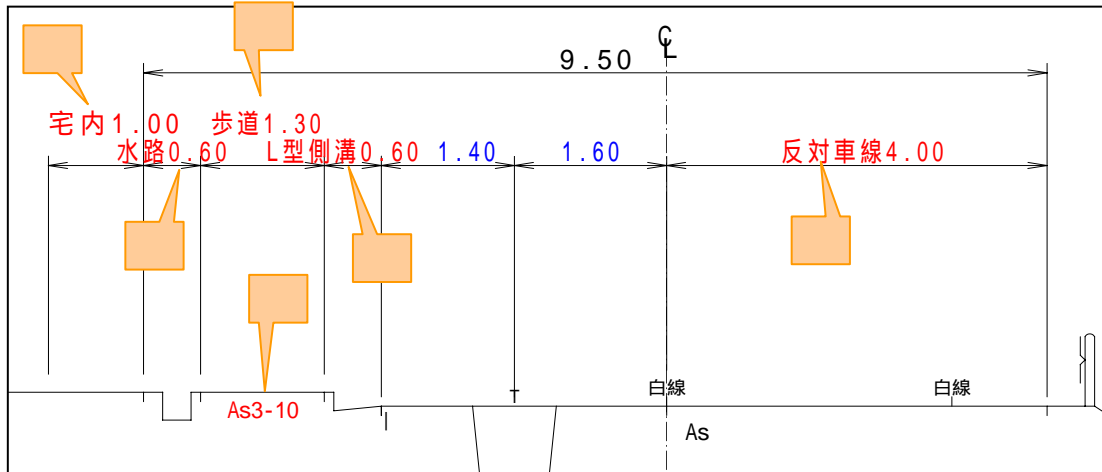
これらはすべてHPOレイヤに入れます。(詳細は次頁)

# 1. 横断図

## 横断数値について

掘削幅、掘削センターから占用帯舗装端までの長さ以外の数値と

宅地段差の数値に関して、各数値の説明語句を記述する必要があります。



**宅内延長** テキスト文字「宅内」に続けて数値を記述します。  
(宅内延長が標準の数値の場合は記述の必要はありません)

**構造物幅** 対象となる**構造物が判別できるようにテキスト文字で書き**、  
続けて数値を記述します。  
**水路、L型側溝、歩車道ブロックなど...**

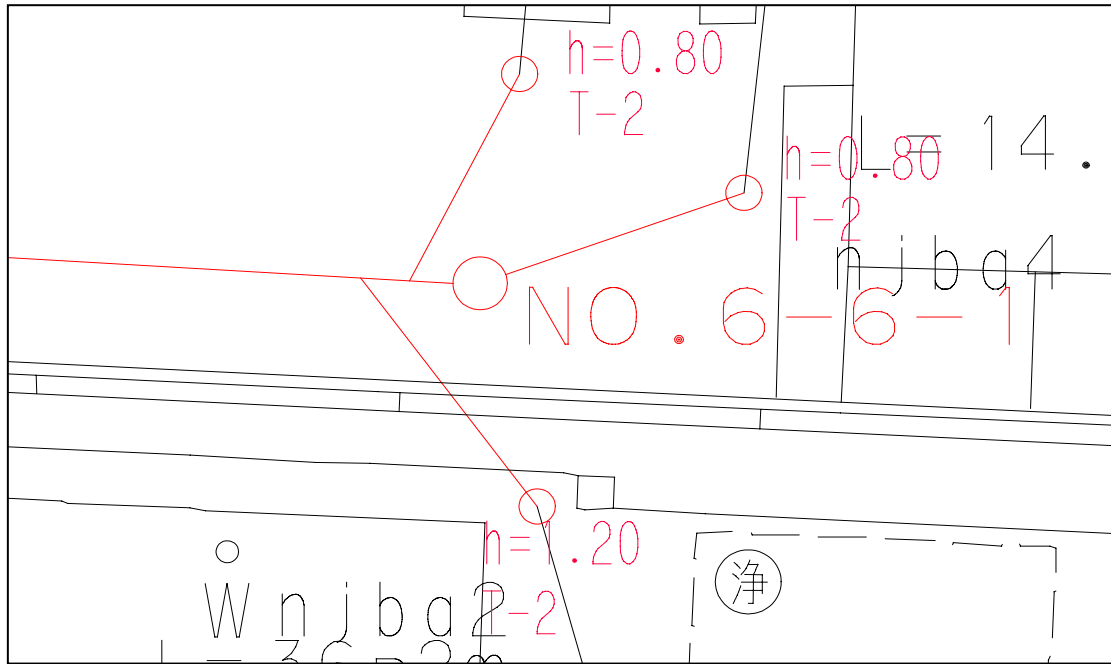
**歩道幅** テキスト文字「歩道」に続けて数値を記述します。

**歩道舗装種類** 歩道の舗装構成を記述します。  
**例：歩道As-3-10 等**

**反対車線幅** テキスト文字「反対車線」に続けて数値を記述します。

**宅地段差** テキスト文字「宅地段差」に続けて数値を記述します。

## 2. 平面図



### 2-1 平面図のマンホール番号位置

平面図上のマンホール番号は、  
該当するマンホール指定円の近くに記述します。

…東広島市CAD図面標準化仕様書 第4章 2.測点 (2)測点番号 参照

### 2-2 柵の記述に関して

取付管を示す線と柵を示す円の交点直近に  
柵 深 H=\*.\*\* (H、hどちらでもかまいません)  
蓋の種類 T-\* (T-2、T-8どちらか)  
を記述します。

…東広島市CAD図面標準化仕様書 第4章 3.取付管・柵 (2)柵情報 参照

柵蓋は柵深の下側に來るように記述します。

柵深、蓋荷重はHPH~~1~~17に入れます。

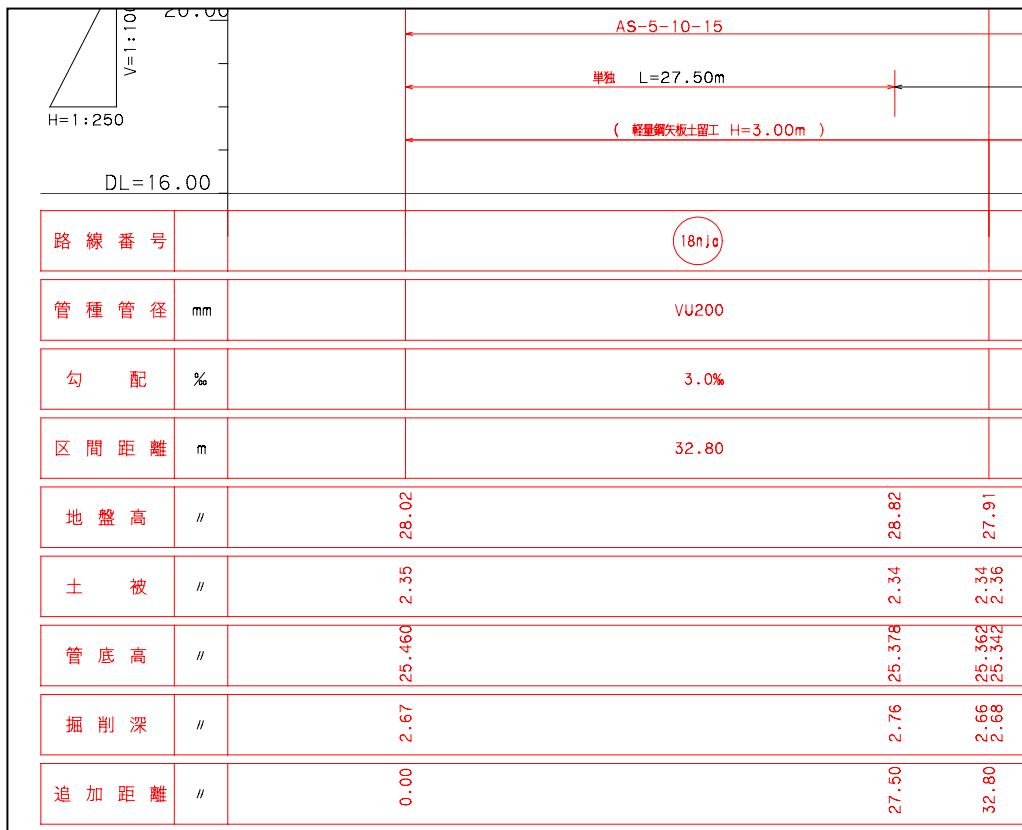
### 3. 縦断図

---

No.0 組立1号マンホール H=2.089 T-14 (既設)

- 3-1 測点番号の先頭文字  
「No.」に統一します。  
注:テキスト文字「(ナンバー)」ではなくアルファベットの「No.」を使用します。
- 3-2 マンホール深の先頭文字  
「H=」に統一します。
- 3-3 引き出し線の角度  
「30°」で統一します。
- 3-4 蓋荷重  
蓋荷重は必ず記述します。
- 3-5 追加距離の増加方向  
「左 右」で統一します。
- 3-6 既設マンホール  
測点名の最後にスペースを空けて (既設) と記述します。
- 3-7 立坑内築造  
測点名の最後にスペースを空けて (立坑内築造) と記述します。
- 3-8 マンホール種類名  
白本で使用されている名称を記述します。  
例: 組立\*号マンホール 小型マンホール(\* \*製) 等

### 3. 縦断図



#### 3-7 区間情報の取得方法

路線番号・本管・勾配・区間距離は全て別の帯に記述します。  
 その他区間情報は矢印線上に記述します。(道路種類・補助単独区分など)

土留種類は素掘り又は土留工をそれぞれ()と一緒に記述します。  
 例：(軽量鋼矢板土留工 H=3.0) (素掘り) 等

掘削機種と補助単独区分は、HPJレイヤ(非印刷レイヤ)を別に作成し、  
 そこに、以下から選択し矢印線とともに記述します。

掘削機種例：人力 BH0.13 BH0.28 BH0.45  
 補単区分例：補助 単独

#### 3-8 管種・管径の記述方法

管種・管径は、ひとつの文字列で 管種 管径 をスペースを入れないで  
 記述します。

例：VU200 HP300 PE75 PRP150 等

#### 3-9 道路種類の記述名称

下図の図面記述名称を使用して図面に道路種類を記述してください。

図面記述名称
As-5-10-15
As-5-5-10-15
As-5-5-10-10-15
歩道As-3-10
Co-7-10
Co-10-10
未舗装